

4月28日、中部電力は静岡県御前崎市の浜岡原子力発電所3号機を7月に再稼動することを前提とする業績見直しを発表しました。

福島原子力発電所の事故と対策がまだまだ先行きの見えない中であり、地元の静岡県、御前崎市、牧の原市の各首長は「安全性について納得していない」「運転再開はあり得ない」とするコメントを明らかにしています。

今回の震災前からも東海地震の耐震安全性をめぐる議論が続いていましたし、東海地震想定震源域上にもあり20km圏内には東海道新幹線や東名高速道路があります。

私たちが乗務する新幹線と乗客、社員の安全を考えた場合、当然このような再稼動は私たち社員としても断固反対と言わざるを得ません。私たちはこれまでも、地域住民や原発再稼動に反対する団体との協力として署名活動を積極的に取り組んできました。

中部電力以外にも、東北、東京電力を除く（沖縄電力には原発は所有していない）7社のうちの3社（北海道、中部、関西）が平成12年3月期の業務予想に原発再稼動を盛り込んだとマスコミが報道しています。

私たち社員だけでなく、狭い日本にいる私たちは原発のこれまでの「安全神話」が崩れた現在、それぞれの会社の業務に必要なだとする傲慢な姿勢を改めてもらうように主張していくことが問われるのではないのでしょうか。

JR東海会社も、安全を第一義に考えるならば、中部電力に対して「浜岡原発再稼動反対!」と即刻申し出るべきです。

「浜岡原発再稼動について
会社は異議を唱えるべきだ!」